

国土交通省鉄道局長 久保 成人 様

滋賀県知事 嘉田 由紀子

北陸新幹線の敦賀における旅客利便性の確保について（回答）

平成 24 年 5 月 11 日付、国鉄幹第 12 号で照会のありました標記の件について、下記のとおり本県の意見を回答します。

記

敦賀以西の整備までの間の暫定措置としてフリーゲージトレインを運行することは、敦賀開業時の敦賀駅での乗り換え利便性の低下を回避するためには止むを得ないと考えるが、以下の事項に留意されたい。

1. 別途整備されるリニア中央新幹線の全線開業後の北陸新幹線のあるべき姿を踏まえ、敦賀以西の整備方針を国において早急に検討・決定すること。
なお、検討の前提になる敦賀以西の各ルートの費用便益調査について、早急を実施し、公表すること。
2. フリーゲージトレインの運行に伴い、生活ダイヤの利便性が将来にわたり低下しないようにすること。
3. 県民の間に、フリーゲージトレインの安全性、風・雪・騒音等に対する強い不安があることから、これらの課題について、国の責任において、しっかりと検証し、対策を講じること。
4. フリーゲージトレインの運行区間については、第 2 回整備新幹線小委員会において、湖西線を運行する特急「サンダーバード」の振替との説明があったが、北陸と中京を結ぶ特急「しらさぎ」の敦賀駅での乗り換え利便性の低下を回避するための対策を講じること。
また、フリーゲージトレインの導入による新幹線ネットワークが効果的に機能されるよう、敦賀駅と湖北・湖東地域ならびに中京方面との良好なアクセス環境を確保すること。
5. フリーゲージトレインの導入は、敦賀開業時の敦賀駅での乗り換え利便性の低下を回避するためのものであり、その導入に必要な経費を本県に求めないこと。
6. 県内の停車駅の設定にあたっては、北陸 3 県と同水準の停車駅数および停車本数を確保すること。
なお、具体の停車駅等については、事前に地元の意見を聞き、反映すること。

以上の意見について、フリーゲージトレインの技術開発の状況等を踏まえ、国において、関係府県、関係市町村ならびに JR 西日本等が定期的に協議する場を設定されたい。